

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【公開番号】特開2011-8140(P2011-8140A)

【公開日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2009-153318(P2009-153318)

【国際特許分類】

G 03 B 11/04 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 03 B 11/04 B

H 04 N 5/225 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月26日(2012.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影レンズの前面に開閉可能に取り付けられた少なくとも4枚の羽根部より成るバリア手段と、該バリア手段を開閉させるバリア駆動手段とを有し、

前記バリア手段は、開閉するように構成された主羽根手段と、前記主羽根手段に設けられた回転軸手段を中心に回転する副羽根手段とを有し、

前記主羽根手段に設けられた前記バリア閉連動手段に連動するバリア閉被連動部が前記副羽根手段に具備され、前記バリア閉被連動部にバリア脱落防止手段を設けたことを特徴とするレンズ鏡筒。

【請求項2】

撮影レンズの前面に開閉可能に取り付けられた少なくとも6枚の羽根部より成るバリア手段と、該バリア手段を開閉させるバリア駆動手段とを有し、

前記バリア手段は、開閉するように構成された主羽根手段と、前記主羽根手段に設けられた回転軸手段を中心に回転する副羽根手段と第二副羽根手段を有し、

前記主羽根手段に設けられた前記バリア閉連動部に連動するバリア閉被連動部、および第二副羽根閉連動部が前記副羽根手段に具備され、

前記バリア閉被連動部の先端にはバリア脱落防止手段が設けられるとともに、前記第二副羽根手段に設けられた前記第二副羽根閉連動部に連動する第二副羽根閉被連動部の先端に第二バリア脱落防止手段を設けたことを特徴とするレンズ鏡筒。

【請求項3】

請求項1又は2において、前記バリア脱落防止手段はコの字形状であることを特徴とするレンズ鏡筒。

【請求項4】

請求項1又は2において、前記バリア脱落防止手段はテーパー形状であることを特徴とするバリア機構。

【請求項5】

請求項1又は2において、前記バリア閉連動部の先端にはバリア閉連動導入部が具備され、前記バリア脱落防止手段が前記バリア閉連動導入部に嵌め込み構成としたことを特徴

とするバリア機構。

【請求項 6】

請求項 4において、前記主羽根手段に具備されたバリア閉運動部のバリア閉運動導入部の背面には副羽根導入部が具備されていることを特徴とするバリア機構。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載されたバリア機構を備えることを特徴とする撮影装置。